

授業科目 人財管理論

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	情報
佐藤 正		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要】					
<p>我々の生活は、企業活動と密接に結びついている。われわれが生活において必要としている様々な物資やサービスは、ほとんどが企業から提供されている。多くの人は、それを購入するための資金を企業で働くことによって獲得している。社会の安定と発展のために、企業活動の安定と発展が不可欠である。</p> <p>そのためには、企業は従業員を活用し、その能力を十分に発揮させ、企業活動を効率的に推進しなければならない。従業員は、自分の能力を上げ、企業活動の場でこれを発揮し、より多くの所得の獲得を実現したい。従って経営者は、企業活動の安定と発展のための必要条件の一つとして、企業活動の必要と従業員の欲求を適合させ、従業員の能力を可能最大限活用するよう努めなければならない。</p> <p>「人財管理論」は企業活動における人材の活用の実態を明らかにし、効率的な人材活用の方法を模索する。</p>					
【学習目標】					
<p>企業活動における人材の活用について、次のような項目についての基礎的な理解を習得する。</p> <p>1) 人材の獲得 2) 労働条件（労働時間、賃金等） 3) 人材の活用 4) 労使関係 5) 法的規制</p>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	企業の労働力利用の基本的特徴				
2	従業員の会社人生＝入社から退職まで				
3	社員区分制度と社員格付け制度				
4	採用				
5	配置と異動				
6	教育訓練				
7	賃金				
8	労働時間				
9	人事評価				
10	昇進管理				
11	労使関係				
12	国際企業の人財管理				
13	人財管理の法的規制（1）労働基準法				
14	人財管理の法的規制（2）労働組合法、労働関係調整法				
15	人財管理の法的規制（3）雇用機会均等法、パート労働法ほか				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		マネジメント・テキスト 人事管理入門<第2版> 新しい人事労務管理（有斐閣アロマ）第3版	今野浩一郎 他 佐藤博樹 他	日本経済新聞社 有斐閣	2009・3,150円 2007・2,100円
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況と期末テストを総合して評価する。		<ul style="list-style-type: none"> ・配布したプリントによって授業を行うので、毎回出席すること。 ・その時々時事問題についても解説するので、新聞（できれば日本経済新聞）の経済欄に常時目を通してきて欲しい。 ・毎回、質問の機会を設け、出席調査票を質問票兼用とするので、不明の点は随時質問して欲しい。 			